

南 中 学 区

1 はじめに

今年度はテーマを「夢や目標に向かってたくましく生きる子どもの育成」とし、小・中を見通した自立の基盤となる諸能力を育てる指導を通して、小・中のよりよい連携の在り方を探っていくことにした。「小・中連携部会」や「授業交流」、「合同ボランティア活動」、「中学校体験交流会」を中心に、小・中学校それぞれの特長を生かして取り組んだ。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
5月16日	連携委員会（大館南小）	11月26日	中学校体験交流会・入学説明会
5月30日～6月1日	小・中交流授業参観	2月21日	小・中行事打ち合わせ会
6月4日	小・中連携部会	3月26日	小・中引き継ぎ
7月23日	合同ボランティア活動	継続的に	ペットボトルキャップ回収

3 活動の実際

(1) 小・中連携部会

① Aグループ…重点〈子どもの主体性を育てる指導の工夫〉

小学校では授業の始まりと終わりのあいさつ、学習用具についての約束、授業の組み立て等をていねいに行っている。中学校1年生は、教師が指示しなくても生徒同士がお互いにハンドサインを見て指名し合い、話し合いを深めることができる力が身に付いているので、中学校でもハンドサインを引き継いでいきたい。

② Bグループ…重点〈9年間を見通したふるさと・キャリア教育の推進〉

小学校では、3年生が〈施設〉「発見！学区のひみつ」、4年生が〈福祉〉「やさしさを届けよう」、5年生が〈自然・環境〉「地域の自然とふれあおう」、6年生が〈文化・伝統〉「ふるさとの伝統と文化」というテーマで実践し、調べたことをいろいろな機会に地域の方々に向けて発信している。

中学校では、総合的な学習の時間で、1年生が〈ふるさと学習〉「ふるさとの今とこれからを考えよう」、2年生が〈職場体験学習〉「働くことの意義を探ろう」、3年生が〈生き方学習〉「自分の未来につながる生き方を模索しよう」というテーマで体験活動を行い、レポート作成、学年発表会、南中祭での全校発表という流れで、ふるさと・キャリア教育を実践している。

(2) 合同ボランティア活動

今年度は昨年度までの学校周辺の清掃から範囲を広げ、17町内に分かれて公民館周辺や沿道を中心にゴミを拾い集めた。積極的にゴミを探す小学生の後ろを中学生が歩き拾い残しをチェックし、連携しながら作業を進めた。



【合同ボランティア活動】

4 おわりに

小・中連携部会の話し合いから、共通な事項について9年間を通しての積み重ねが大切であることを確認できた。今後もお互いに情報を交換し合いながら、子どもたちを伸ばしていけるように努力していきたい。